

ひなの家押野通信第19号

ひなの家オープン4周年を迎える 地域密着の交流施設へ



④から橋谷管理者、秋田施設長（前）、梶主任

小規模多機能ホーム（以下、小規模多機能）として2017年7月にオープンした「ひなの家押野」が7月4周年を迎えました。秋田利恵施設長にこれまでを振り返ってもらい、今後の方針などを聞きました。

「ひなの家押野は、4周年の節目を迎えましたが、オープン当時はどうでしたか。」

秋田 当時は、小規模多機能というものがあまり知られてなくて、小規模多機能のよさを知らなくてもうまで大変苦労しました。

スタッフがそれぞれ、地元の一軒一軒にチラシを配ったり、知り合いを頼ってお願いに回りました。定員（29人）に半分にも満たない時期が1年は続きました。

「少しずつ利用者が増えてきましたね。」



ひなの家 押野

野々市市押野1-31
電話076(287)5810

ひなの家押野



秋田 スタッフの地道な努力が実り、利用者も少しずつ増えて運営が軌道に乗ってきました。小規模多機能の良さが理解されてきたのですね。

オーダーメイドのサービスに理解

「通い」「訪問」「泊まり」のサービスを、本人や家族のその日の状況によって、柔軟に組み合わせ、家庭的な雰囲気を楽しんで過ごすことができます。

四季を撮る



畑でじゃが芋を初収穫

ホームの畑で初収穫されたじゃが芋が、玄関前に並べられた。こぶし大から石ころぐらいの小さいものまでズラリ。表面の泥を利用者が懸命に取り除く。ごろごろと転がる大小の芋たち。「大きさが違って、どれもおいしいよ」と語りかけているようだ。



理想に向かって
スタッフ一丸

理想はまた「道ば」です。ひなの家押野はこれながら正念場。スタッフが一丸となって、理想に向かって頑張っています。

オープン時から利用者、小野治郎さん

の話 スタッフが私の家までわたしてくれたチラシを見てひなの家押野に関心をもちました。ちょうど妻が倒れたことで、生活に不便を感じていました。試した



でコンビニやJAに案内してもらっています。明るくて親かなスタッフが、親身になって私の面倒を見てくれています。ひなの家押野を利用して本当に良かったです。

に利用してみることになりました。「通い」「訪問」「泊まり」を利用してはいますが、時にはスタッフが車

していただく。その人その人に合わせた「オーダーメイドサービス」が理解されてきたのです。
「15年目に入り、ホームをこのようにしたいと思えますか。」
秋田 利用者はもちろん、地域の人たちが気軽に出入りする地域密着型交流施設が理想です。利用者や地域の人が一緒にランチをしたり、お茶を飲んだりしたり。
でもいまは、新型コロナウイルス感染症対策のため、活動が停滞しています。

色紙を切りとり、竹に飾りつけ それぞれの願いを七夕に込める

7月7日の七夕を前に、ひなの家押野で七夕の飾りつけがありました。

まず、利用者やスタッフが金や銀、赤、青、黄色などカラフルな折り紙を使って星の形や吹き流しなどを作りました。また、短冊に自分の願い事を書き込み、約2mの竹の枝に結び付けていきまし

短冊に書かれた願い事は次の通り。

- 「家族仲良く、輝く未来」
- 「毎日元気でいられますように」
- 「みなさんの心、一つになった キラキラと」
- 「いつまでも元気でね」
- 「みんなといつまでもなかなくしたいです」
- 「健康で長生きできますように」
- 「すいか たべたい」
- 「コロナウイルスが早く収まるように」
- 「2022年に介護福祉士になれますように」
- 「楓がホームランを打ちますように」
- 「しあわせ、しあわせ、しあわせ」



①竹に飾りを付け②色紙などで飾りを作る

スタッフ紹介 「元気いっぱい」⑰

介護士 小納谷 良治さん



食事で元気を出してほしいと語る小納谷さん

食事作りを通じて
利用者と会話を楽しむ

ひなの家押野で厨房を担当している。昔から、料理が得意で、2年ほど病院や老人ホームの厨房で

働いていた。縁あって、3年前からひなの家押野の厨房に立つようになった。

「高齢者は、食事が大きな楽しみ。栄養価が高く、食べやすいことは当たり前。見た目の彩りも大切

なので、毎日、利用者と一緒に顔を会わせながら食事を作る。「利用者」と親しくなると話せるのが楽しいことにこやか。自然と触れ合い、足腰を鍛錬するため毎朝、自宅近くの卯辰山を1時間かけて散歩するのが日課。

利用者の家族がサンドイッチ店をオープン

利用者の駒井禮子さんの家族の方が野々市市菅原町でサンドイッチ店Ⅱ写真Ⅱをオープンさせました。ホームのおやつタイムに出したところ、利用者から「とてもおいしい」と好評でした。

店は、野々市市交通公園そばの学生寮1階にある。店名は「サンドイッチ房 晝屋(シリュウ)」。メニューは、卵サンド(200円)、カツサンド(300円)、フルーツサンド(350円)、ポテサラサンド(250円)など。営業時間は午前7時から午後3時まで。なくなり次第、閉店しま



す。住所は野々市市菅原町3の12。

◎編集後記
「もうすぐ100歳になる女性の処女詩集」と書き出しにありました。柴田トヨさんの詩集「くじけないで」。どの詩もみずみずしく、老いてもなお感性豊か。題名通り「そんなごっこ(くじけちゃいけないよ)」と読む人を励ましてくれます。「これを読んで」と渡してくれた先輩に感謝。(浦上)